文章検

2025年度 漢検 公益財団法人 日本漢字能力検定協会〔不許複製〕

文章読解・作成能力検定 準2級A 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

検定日
2025年
8月22日

第1問 【30点】

問1 1 ウ　2 ウ　3 ア　4 ア　5 ウ

問2 1 ウ　2 エ　3 エ

第2問 【30点】

問1 エ

問2 ア

問3 エ

第3問 【30点】

問1 イ

問2 ウ

問3 エ

第4問 【40点】

問1 1 括 → 活

2 お納めいたしてください → お納めください

3 これで

問2

解答例

当初は出席の予定で、祝賀会で先輩にお会いすることを楽しみにしていました。しかし、インフルエンザにかかり、どうしても出席できませんでした。遅くなりましたが、お祝いの品をお送りいたします。（25字×4行）

裏へ続く

第5問　【70点】

作成例1　「事情を説明するのがよい」立場

A 先日、クラスメートと、材料を持ち寄ってバーベキューをすることになった。私は野菜の担当だったので、いろいろな種類の野菜を用意していった。ところが、必要な分量の計算を間違えていたようで、私が持っていった分は、人数に対してかなり少なかった。最初にそのことを謝っても、「材料費をケチったんじゃないか」「いい加減な買い物をしたんじゃないか」などと言ってこちらを責める人がいた。だが、正直に計算を間違えたと話して事情を説明すると、「そういうことなら仕方がない」「疑ってごめん」と理解してくれた。

B もし事情を説明していなかったら、疑われたままだったのだと思う。この経験から、私は、自分の失敗で人を怒らせてしまったときには、謝罪に加えて、失敗に関する事情を説明するのがよいと考える。

C なぜなら、失敗した事情を説明しなければ、こちらがずるいヤツだとか、まじめにやる気がない人間だなどとのレッテルを張られかねないからだ。それではあまりにもつらいし、友人関係もうまくいかなくなる。

D 事情を説明すると、言い訳をして自分は悪くないと言い逃れするように受け取られてしまうという人もいる。だが、謝罪に加えての事情説明だ。謝ってもいるのだから、自分の非を認めて責任を感じていることを伝えられる。言い逃れをしていると思われることはない。

（25字×23行）

作成例2　「事情を説明する必要はない」立場

A 去年、文化祭で地域の歴史について発表した。その準備として地域の資料を集める必要があり、発表グループ全員で手分けして資料の収集にあたった。ところが、その中の一人が担当する資料を期限までに用意できなかった。そのため、考察が不十分となり、発表の質が落ちてしまった。資料を用意できなかった人は、「本当にごめん」と謝ったあと、「親せきに不幸があって、資料集めの時間がなかった」と事情を説明した。だが、他の人からは「それは言い訳にすぎない」「結局、自分は悪くないと言っているんじゃないか」などと非難されていた。

B 彼のように自分の失敗で人に迷惑をかけることは、だれにでも起こりうる。だが、そういうときには謝罪だけでよい。謝罪に加えて失敗の事情を説明する必要はない。

C こんな事情があったなどと説明すると、失敗したのは事情のせいで、自分は悪くないと言っているように聞こえる。事情の説明が責任逃れをするための言い訳になる。それは非を認めない態度であり、謝罪が意味のないものになってしまう。

D 中には、事情を説明しないと、理由もなくさぼったり手抜きをしたりしたと思われ、付き合う友人がいなくなるという意見もある。しかし、失敗に対して、そのように厳しい人ばかりではないはずだ。事情を説明しなくても、こちらの立場をおもんぱかってくれる人もいる。そういう思いやりのある人と付き合えば、友人がいなくなることはない。

（25字×25行）

おわり

記述問題の採点チェックポイント

第4問　問2　（25点）

チェックポイント	配点
(1) 3文の順序・つなぎの言葉が適切であるか	8
(2)メモの内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	12
(3)誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問　（70点）

作成例にある記号の意味

A: 事実　B: 意見　C: 理由　D: 異なる意見とそれに対する反論

チェックポイント	配点
構成：事実・意見・理由・異なる意見とそれに対する反論の4段落になっており、段落の関係は論理的であるか	20
第1段落：事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落：自分の意見が、はっきりと示されているか	5
第3段落：意見に納得できるように、理由が説明されているか	10
第4段落：異なる意見は反対の立場のもので、それを否定する反論が述べられているか	5
表記：誤字脱字などのミスがないか	10
表現：語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

＊行数不足、行数超過は採点対象外（0点）です。
　実際の採点では部分点等を規定しております。

文章検

2025年度

漢検 公益財団法人 日本漢字能力検定協会【不許複製】

文章読解・作成能力検定 3級A 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

検定日
2025年
8月22日

第1問 【30点】

問1 1 イ　2 ア　3 ウ　4 ア　5 ア

問2 1 ウ　2 ウ　3 ア

第2問 【30点】

問1 ウ

問2 イ

問3 ア

第3問 【30点】

問1 ア

問2 イ

問3 ウ

第4問 【40点】

問1 1 授 → 受

2 精進なさいます → 精進いたします

3 苦手な

問2

解答例

清書しているとき、あと一字で完成というところで間違ってしまいました。そのため、出品をあきらめるしかないとひどく落ち込みました。しかし、仲間にはげまされてもう一度書き直すことができました。

裏へ続く

第5問　【70点】

作成例1　「別の友人に相談するのがよい」立場

A
先月、友人と口論になった。それで、口をきかない状態が続いた。教室で毎日顔を合わせることがつらいので、打開策を考えたが思いつかなかった。そこで、別の友人に相談をしてみると、彼は「三人で映画に行こう」と言った。気が進まなかったが、友人がせっかく考えてくれたことなのでそれに従うことにした。次の日、三人で映画を見に行き、そのあと夕食を食べた。そこでは、見た映画の感想を言い合ったのだが、その流れで口をきいていなかった友人と自然に会話ができた。口論に言及することなく仲たがいを解消することができたのだ。

B
自分では解決できなかったことが、友人の提案であっという間に解決した。友人とケンカやもめごとで仲たがいをしたときは、別の友人に相談するのがよい。

C
第三者は、当事者が思いもしなかった発想や、気づかなかった単純な解決方法を提案してくれる。友人であれば自分の性格などにも配慮してくれるので、その提案はなおよいものが期待できる。自分で解決しようとするよりずっとよい。

（25字×18行）

作成例2　「別の友人に相談するのはよくない」立場

A
私はバレーボール部で部長をしている。先日、練習の進め方について副部長のAと意見が食い違うことがあった。Aとは仲が良いが、それからは話をすることすらなくなっていた。だれかに相談したいと思った私は、部員のBに、Aとの間で起きたことについて説明し、どうするべきか相談した。後日、私とAについての部員たちのうわさを耳にした。そのうわさでは「私とAがケンカをして、その後私がAのことを無視している」と私が悪者になっていた。事実とは異なる話が部員たちの話で広まっていたのだ。

B
友人と仲たがいをすることがあると、別の友人に相談したくなるものだ。しかし私は、別の友人に相談するのはよくないと思う。

C
ケンカや仲たがいといった人間関係にまつわる話は、うわさ話として広まりやすい。そして、話が伝わっていくとき、事実とは異なった内容になってしまうことも多い。別の友人に相談すると、いいかげんな話が広まり、自分がひどい目にあうことになるのだ。

（25字×18行）

おわり

記述問題の採点チェックポイント

第4問　問2　(25点)

チェックポイント	配点
(1)内容のまとまりごとに分割されているか	8
(2)傍線部の内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	12
(3)誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問　(70点)

作成例にある記号の意味
A: 事実　B: 意見　C: 理由

チェックポイント	配点
構成：事実・意見・理由の3段落になっており、事実／理由が意見に結びつくものになっているか	20
第1段落：事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落：自分の意見が、はっきりと示されているか	10
第3段落：意見に納得できるように、理由が説明されているか	10
表記：誤字脱字などのミスがないか	10
表現：語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

＊行数不足、行数超過は採点対象外（0点）です。
実際の採点では部分点等を規定しております。

文章検

2025年度

漢検 公益財団法人 日本漢字能力検定協会【不許複製】

文章読解・作成能力検定 4級A 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

検定日
2025年
8月22日

第1問 【40点】

問1 1 ア　2 ウ　3 ウ　4 ウ　5 ア

問2 1 ア　2 イ　3 ア　4 ウ　5 ア

第2問 【20点】

問1 エ

問2 ア

第3問 【40点】

問1 ア

問2 イ

問3 ウ

問4 イ

第4問 【40点】

問1 ウ

問2 イ

問3 エ

問4

解答例

自分の絵に自信があった私は、高校でも美術部に入部しました。しかし、高校の美術部は上手な人ばかりで、自信をなくしています。そこで、田中さんから一度、私の作品についてご意見をお聞きしたいのです。

（25字×4行）

裏へ続く

第5問　【60点】

作成例1　「計画を立てるのがよい」立場

A

去年、私は夏休みの宿題について、時間のある日に少しずつ取り組めば終わるだろうと思い、計画を立てなかった。しかし、夏休みの後半になって、宿題一覧表と終わった宿題を照らし合わせてみると、あきれてしまうほど終わった宿題が少ないことに気づいた。夏休みの後半には、友達との遊びや部活の練習試合も入っていたため、残りの日数では終わらせることができず、提出できない宿題が出てしまった。

B

計画を立てずに夏休みの宿題に取り組んだことで、宿題を後回しにしてしまい、期限までに終わらせることができなかった。夏休みの宿題を終わらせるためには、計画を立てるのがよい。

（25字×12行）

作成例2　「計画を立てなくてよい」立場

A

中学一年生のとき、学校で夏休みの宿題の計画表をつくるように言われ、「何日までにワークを終わらせる」などと計画を立てていた。しかし、友達との急な予定や体調不良も重なり、決めていた計画通りに宿題を進めることができなかった。せっかく計画表をつくったのに、予定に変更があったことで使いようがなくなり、見ることもなくなってしまった。

B

計画を立てて夏休みの宿題に取り組もうとしても、当初はなかった予定などが入れば、その計画は無意味なものになってしまう。計画にしばられることなく、より楽しく夏休みを過ごすためにも、夏休みの宿題は計画を立てなくてよい。

（25字×12行）

おわり

記述問題の採点チェックポイント

第4問　問4　（25点）

チェックポイント	配点
(1) 3文の続き具合が不自然でないか	6
(2)メモの内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	14
(3)誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問　（60点）

作成例にある記号の意味
A：事実　B：意見

チェックポイント	配点
構成：事実・意見の2段落になっており、事実は意見を支えているか	20
第1段落：事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落：自分の意見が、はっきりと示されているか	10
表記：誤字脱字などのミスがないか	10
表現：語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

＊行数不足、行数超過（ちょうか）は採点対象外（0点）です。
実際の採点では部分点等を規定しております。